

平成 31 年 4 月 5 日

2～6 年生 保護者の皆様

旭川市立永山西小学校

校長 筒井章夫

## 家庭での学習方法の多様化に対応するために

これまで、本校では、担任から出す宿題の他に、自分で学習内容を決めて自主的に取り組む家庭学習ノートの取組を全学年で推進してきました。

しかしながら、近年、情報化社会の中で、家庭での学習方法がタブレット学習やインターネットにつなげて動画を見て学習する方法などの多様化が進み、紙やノートを使用しない学習方法が増えてきています。本校でも昨年度、家庭でインターネットにつなげて学習する e ライブラリの学習方法について個人カードや操作方法を説明する文書を配付し、家庭での学習を推奨してきました。

つきましては、今年度より以下のとおり家庭学習(宿題・自主学習)を推進していきたいと考えています。ご家庭のご理解とご協力をお願いいたします。

### 宿題 + 自主学習 → 家庭学習

本校では、宿題と自主学習を併せて「家庭学習」と呼びます。

#### 宿題

授業内容を復習し、確実な学習内容の定着を目指すために、学校(担任)が指示した内容について、全員が一様に取り組む学習です。担任が宿題を出します。提出は全員がします。丸付けは、学習後すぐに行うことが効果的なことから、低学年については保護者の方のご協力をお願いします。

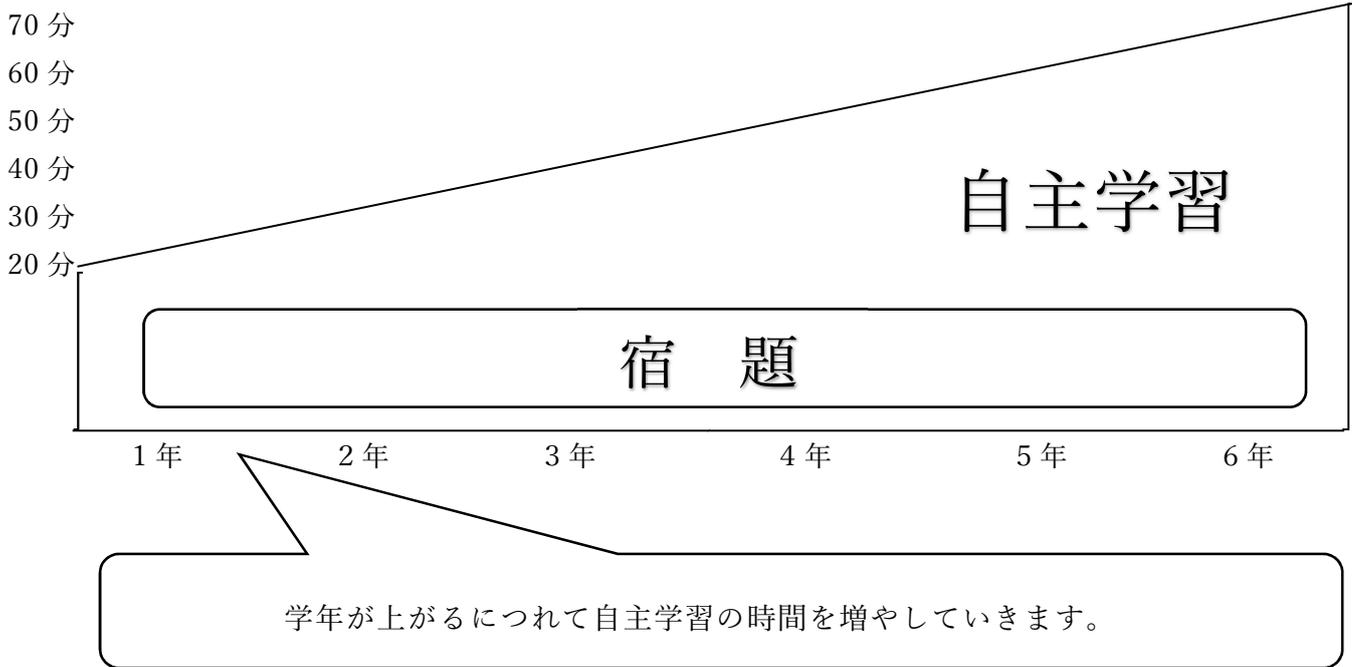
#### 自主学習

自ら学習計画を立て、見通しをもって学習する力や主体性を育むために、児童自らが自主的に取り組む学習です。ご家庭の判断で児童と相談しながら、いろいろな学習方法を選択して取り組んでください。多様な学習方法で行うため、ノートに取り組んだ場合のみ、提出できます。その際、ノートはこれまでのように2冊用意していただき、1冊に1週間分の取組をまとめて提出してください。1週間後に返却しますが、提出している間は、もう1冊のノートに取り組んだり、その他の方法で学習してください。また、ノート以外の取組状況を確認するために、家庭学習カードの取組を月初め1週間、定期的実施することとします。なお、4月は15日(月)～21日(日)の週に実施します。

(学習方法)

ノート、インターネットでの e ライブラリ、スマートフォンでの動画学習、タブレットを使用した学習、市販ドリル、通信教材など

本校での発達段階における宿題と自主学習のイメージ図



家庭学習の目安時間 = 学年 × 10 + 10 (分)

学年	低学年	中学年	高学年
目標	基本的な学習習慣を身に付けよう	自主的な学習習慣を身に付けよう	自学自習の習慣を身に付けよう
保護者のかかわるポイント	子どものそばにいて、正しく読んだり書いたりできるようにアドバイスしながら、できたことをほめて、意欲を高めましょう。	子どもの学習の様子を見守り、子どもが分からないところと一緒に考えたり、解いてみたりしながら、少しずつ自分で学習できるようにしましょう。	子どもに合った学習の仕方を一緒に考えたり、子どもが計画を立てて自力で学習を進められるようアドバイスしたりしましょう。

家庭学習を効果的に進めるための3つのポイント

- ①時間 家庭学習の目安時間まで取り組みます。
- ②内容 自主学習については、復習や予習に取り組みます。毎日同じ教科や同じ内容ではなく、いろいろな教科や苦手な内容にも取り組みます。
- ③声かけ
  - ・ほめる 「すごいね、じょうずだね。」
  - ・ひろげる 「～ができるようになったね。」
  - ・はげます 「がんばってるね。」
  - ・深める 「今度は～するといいね。」